

# 紙芝居と幼児

上 遠 文 子

幼児は談話を好むと同様、談話を繪にした紙芝居は特に幼児に好感を持たれる。私共としても自由遊びに飽易い年少組の保育案に紙芝居を折込むのは一つの考案として用ひてゐる。一組が、「紙芝居だ、お入りー」等と呼ぶとお隣りの組も又お隣りの組も皆が集つてしまふ盛観で、如何程紙芝居が幼児達に歓迎されるかはかり知られる。數年前、街巷で見た紙芝居の印象の深い私共はともすると紙芝居は品の無もの、あまり教育的で無ものとの感を抱いてゐたが、今では大いに活用してゐる自分である。

朝いきなり紙芝居してと注文を受ける事もあり、一度見たものを幾度演じても、見たからつまらぬとは言はずに熱心に觀覽する様子を見ても、あんなに好きなら何か新しいものを作つてあげたいと思ふのである。その反面あれ程興味ある紙芝居より受ける影響は？、餘程その題材選擇に考慮を拂はねばならぬ事を感じさせられる。過日、私の組(年少組)の男子の自由遊びに大狼ごつこがはやり始めた。男の子五六人組になつて大狼の眞似をして側で飯事をして遊んでゐる女の子達の所へ行つては、アム〜と云ひつゝ、大きい口を開けて食べる眞似をしてゐる女の子達は嫌がつて言附に來た。それから數週間と云ふもの何かにつけてふざけるにも「アム〜食へてしまふよ」と言ひながら遊んでゐる。

これと云ふのもその二三日前「三匹の小豚の紙芝居をした。それには大狼が小豚を食へ様とし臺詞にアムアム〜と食へてやる」と云ふのがあつた、それを眞似てゐるので、これ程直接に響きもし、眞似をするには餘程その内容も言葉つかひも考慮せねばと思つた。一面此機會を利用し、よき精神好き事も出来るのではないかと考へた。神様のお話は年少組にはお話として言葉のみでは中には何が何だかわからぬ幼児も多い。その點これを紙芝居ですれば印象的も理解も効果的と信ずる。この様な譯で、私共の手で書いたもの、幼児の手で作りましたものを用ひるのが一番理想的であるかと考へ作製してみた。私共で作製する場合第一の問題が紙の問題で、やはり相當大きい方が好いので最小限度八ツ切の大きさとする。勿論廢物利用でお畫かしてある裏を使用したりする。薄紙より厚紙で、薄紙の場合は厚紙へ張ければよい。

文章を讀みそれを解易き繪にて表現するのであるが、その時細かく區切つて表現するより印象的部分を連續的に抽出してその間は言葉で連續させる。

畫面は小さいものまで細々と表現するよりもその場の特徴を把み、あつさりど、人物は大きく印象的に畫く事が必要である。次に色彩は鮮明なものを歓迎する。暗色ばかりの使用は比較的

さげ、明色とも申しませんが、これを多く使用し、畫面を美的に作製する事も必要である。水彩の方が出来上りは綺麗だがクレヨンでも濃色な色彩にすればよい。人、物の區切は明かにしないと畫面が引立たぬのも一つの注意で、輪廓を黒の線ではどこすよとの事は解決する。裏面には御存知の様にその説明を書く。

一方法として張繪の紙芝居にしても興味深く、又畫面は背景のみにして、人なり物は別紙を切抜き割箸等短い棒の先にはりつけそれを動かして御芝居する様なのも變つてゐて面白い。手はかゝるが、年長組で共同製作として誘導的仕事として保育案に加へても面白い事と思ふ。

空襲を受け壕の中に數時間過さねばならぬ折、幼児を飽きさせずその數時間を守り抜くのも保姆の手腕を待つ。その折には何か幼児の好むものを用意する事を考慮しておかねばならず、紙芝居もよりよき資料であるゆゑ避難用具の一つに加へて用意しておきたい。

以上の様な理由で私としても大いに紙芝居を利用し、談話を上手に話こなせぬ自分としても幼児自ら、下手な自分の話よりも興味持ち、印象的でもあるゆゑ、此頃では何かと紙芝居を資料として活用してゐる私である。

そして數年前の惡印象の紙芝居も自分で破棄した。

(筆者は東京女高師附屬幼稚園保姆)

### ○お願ひ

○本會へ振替にて御逆金の場合、振替料、拾錢を別に御加算下さるやう度々申し上げましたが、未だ御加算のない方が多くございます。この場合料金は、御送金下さつた會費の中より申し受けて居ります。

○從來特別行爲税はいたゞいて居りませんでした。この四月から特別行爲税相當額を申し受けることに致しました。

○又送料が、この四月より貳錢になりましたから之も申し受けることに致しました。以上御諒承下さい。

昭和十九年九月

日本幼稚園協會事務係り